



平成23年度総合企画委員会で班割再編成案を再審議、 町会設立50周年記念事業実施を決定

師走に入り、今年もあと僅かとなりました。町会の運営、諸行事も皆様のご支援とご協力により円滑な推進を図ることができましたことを、執行部一同心から深く感謝申し上げます。

さて、去る11月23日、平成23年度総合企画委員会が開催され、町会運営について長期スパンの視点で問題点等が審議されました。

最も重要課題としている班世帯数不均衡是正について、昨年原案が世帯の転出や、17班の再検討要望等を踏まえ、再度見直しを行った班割最終案が審議され、委員全員異議なく承認されました。

そのほか、社会情勢の変化に対応した町会活動のあり方が提案され、今年度の活動実績を踏まえ次年度も継続する方向付けが行われました。

また、来年は町会設立50周年を迎えることから、記念事業を実施するか否かが審議され、一部委員で不要論があったものの、25周年記念事業が実施された経緯を尊重し、50周年記念事業実施に向け、役員会で具体化を図ることとしました。

以上のほか荒屋会館維持管理について、各種経費の実績から全世帯150円/月の負担で運営経費、修繕費等が賄えることが確認されました。

除雪対策基金の取り扱いについても審議され、除雪を青年部に委託できるか意見交換が行われました。この実施について、今後さらに検討していくこととなりました。

2 「歳末たすけあい募金」にご協力ありがとうございました

石川県共同募金会千坂地区分会、並びに千坂地区社会福祉協議会において、「歳末たすけあい運動」が展開され皆様のご協力をお願いした結果、今回も220件・176,700円（前年度211件・146,100円）と、ここ数年来の実績を大きく上回る暖かいご協力をいただくことができました。厚く御礼を申し上げます。

皆さんから拠出された寄付金は12月1日、公民館を通じて社会福祉協議会に納入いたしました。

3 第34回千坂校下文化祭・健康フェアが盛大に開催され終日の賑わい

津田佐千子さん（16班）、岩田ひかりさん（16班）が文化奨励賞、井波奈津美さん（12班）が昨年に続き体育功労賞を連続受賞の栄誉！

10月30日（日）、第34回千坂校下文化祭が～文化の香り高いまちづくりをめざして～をテーマに、千坂小学校体育館、ピロティにおいて盛大に開催されました。

9時から式典が始まり、文化・体育功労者並びに文化奨励賞表彰式が執り行われました。

文化奨励賞は個人2名と2団体が受賞されました。その個人2名は当町会の津田佐千子さんと岩田ひかりさんが受賞の栄に輝きました。

また、体育功労賞に井波奈津美さん（12班）、青少年健全育成協議会表彰で標語小学生の部において優秀賞に桶家亜美さん（13班）、佳作賞に稲本佳那さん（4班）が受賞されました。

このように荒屋団地から5名もの方々が次々に表彰台に立ち、公民館長から功績を称えられました。

町会にとっても、荒屋団地の名声を高めていただいた嬉しい快挙でした。受賞者の皆さん、おめでとうございます。



町内の誉れである5名の受賞者の皆さん



町会展示物と荒屋団地生け花同好会展示品

また、校下全町会からただ1町会のみ当町会からは、3年連続して町会活動状況を示す展示物を出展しました。

そのほか、荒屋悠々サロンが5年間の活動状況を写真で紹介し、クラフト同好会、生け花同好会の皆さんも作品を出展され、来場者から「荒屋団地は何でも活発に

活動しており素晴らしい！」と絶賛の声が上がっていました。

本文化祭では荒屋団地の「絆」づくり活動を通じた支え合い・助け合いのあるまちづくり状況を大いにアピールすることができました。

作品展示にあたり、出品製作、資料作成や会場飾り付け等にご尽力された皆様に心から感謝を申し上げます。

4 第2回全世代「ふれあい交流会」が開催され、荒屋会館に歓声が響き渡る！

去る10月23日、午前9時から荒屋会館において町内全世代を対象にした「ふれあい交流会」が開催されました。

ふれあい交流会は、昨年初めて子供から高齢者までの全世代のふれあい行事を開催したところ、多数の参加者から楽しかったと好評を得たことから、今年度も実施することとし、町会をはじめ福寿会、子ども会、荒屋悠々サロンスタッフ、民生児童委員が協同で開催することになったものです。

この行事は、昨年の実績に基づき、石川県社会福祉協議会のモデル事業に採択され、開催補助金の交付がありました。



最初は紙芝居、そのあとに「読み聞かせ」がありました。

当初の予定では、引き続き児童公園に移動してグラウンドゴルフを楽しむことになっていましたが、あいにくの雨のため、会館で「日本昔話」のDVD鑑賞に変更されました。

スケジュールのトップは交通安全の紙芝居



これらが終わり、2階会場に移動して、折り紙を楽しむことにしました。

折り紙材料は色紙のほか、新聞折り込みチラシを用いました。

今年も小さな子どもたちは「紙鉄砲」を折り、「パン」とかなり大きな音が出るので大喜びしていました。

このあとは再び3階会場に移動して「ビンゴゲーム」を楽しみました。

景品は多種多様な防災グッズを揃えて、ビンゴになった順に自分の最も気に入った景品をもらいました。

全員がビンゴになったので、「皆でカレーライスを食べよう！」と2階会場に移動しました。



賑やかな食事タイムが終わり、ふれあい交流会が終了しました。

この交流会により、荒屋団地の「絆」がさらに強くなり、その目的を十分に果たすことができました。

全面的なご支援ご協力を賜りました悠々サロン土居本代表のほか、スタッフの皆さんに心から感謝いたします。

ありがとうございます

ました。

5 次年度の副会長（候補者）、班長選出について

次年度から別紙のとおり班割編成が変更されることとなりますが、円滑な新体制移行を期するため新班割体制による副会長（候補者）、班長の選出については、新しい班ごとに話し合いを十分行われたうえで12月22日までに別紙の役員・班長一覧表により現班長が取りまとめて各ブロック長に報告をされるようお願いいたします。

6 家族に異動のあった世帯はご連絡ください

町会は一昨年5月、防災対策を強化するために住民票を再整備しましたが、それ以降に家族の異動（出生・転入・転出等）があった世帯は、異動のあった方の氏名（ふりがな）続柄・性別及び生年月日をメモして、ブロック担当の副会長までお知らせ下さるようご協力をお願いいたします。

7 荒屋会館で校下諸団体のホームページ作成講習会を開催

千坂校下町会連合会では、昨年から23の各町会と各諸団体の活動状況等の情報を広く公開することにより、地域住民の連帯をより強固にする目的でHPを作成する方針を決定し、NPO法人「ケーネット知楽市」の協力を仰ぎHP構成について協議を重ねてきたところです。

そのHP構成が具体化したので、各町会長、並びに各諸団体長を対象とした簡易な投稿記事入力方法等について講習会を開催することになりました。

10台以上のパソコンが接続できる環境が整っていて講習会が開催できる所といえば吾が荒屋会館しかありません。

このことから、各町会と諸団体を4グループに分けて2日間の講習会を開催することになり11月22日、延べ7日間の講習会が終了しました。

千坂校下町会連合会と検索すると、作成途上のHPが閲覧できます。

以上のとおり、荒屋会館が地域に貢献できたことを喜びたいと思います。

おくやみ

11班の砂原宏さん(78才)が10月17日に死去されました。
謹んでご冥福をお祈り申し上げます。